





氏名	様	主治医	助産師
入院日	／	帝王切開当日	／
産後1日目	／		
観察	入院後に体温、脈拍、血圧、血中酸素飽和度、呼吸数を測ります。	定期的に体温、脈拍、血圧、血中酸素飽和度、呼吸数を測ります。	1日4回体温、脈拍、血圧、血中酸素飽和度、呼吸数を測ります。適宜乳房マッサージを行います。
生活動作	制限はありません。	手術室までは歩いて移動します。手術後から、ベッド上安静になります。麻酔が切れてきたら、血栓(血が固まって詰まること)予防の為に積極的に足を動かしたり、体の向きを変えたりしましょう。手術後は体調に合わせて、マタニティプランに沿って育児を進めていきます。	術後24時間で排尿用の管を抜いて歩行になります。歩行後は体調に合わせて、マタニティプランに沿って育児を進めていきます。
食事	入院日(手術前日)の夕食まで授乳食。その後夜9時以降から、手術翌日昼までは、飲んだり食べたりできません。		昼から軟菜食(主食:全粥)が始まります。
清潔	手術前日のみシャワーを浴びることができます。		体を拭きます。
排泄	トイレにいけます。	手術中から排尿用の管が入ります。	排尿用の管を抜いた後トイレに行きます。尿意を自覚しにくい事がありますので、管を抜いた後3時間以内にはトイレに行きましょう。初めてトイレに歩く時は看護師をお呼びください。排泄後はクリーンコットンを使用しましょう。
診察・処置	抗生剤アレルギーの問診をします。お腹にモニターをつけて赤ちゃんの観察をします。	朝、浣腸を行います。手術前に点滴を行います。お腹にモニターをつけて赤ちゃんの様子を観察します。手術前に血栓症予防のストッキングを着用します。	排尿用の管を抜きます。
薬物療法	 	手術前、後に水分補給の点滴を行います。症状に合わせて痛み止め・吐き気止めを使用します。喘息の既往により薬剤を変更します。状態により子宮収縮剤を追加することがあります。状態により血栓症予防の注射を行います。	水分補給の点滴を行います。腸の働きをよくする薬が処方されます。術後食事が始まったら毎食後、10滴ずつ便が出るまで内服してください。症状に合わせて痛み止め・吐き気止めを使用します。
説明・指導	病棟のご案内、必要書類の確認をします。入院診療計画書・クリニカルパスを用いて入院中の生活を説明します。ガスリー検査用紙・返信封筒・赤ちゃんの診察申し込み用紙をお渡しします。ベットサイドにある「産後のお母様方へ」をご覧ください。	へその緒をお渡しします 出生証明書、母子手帳は後日お渡しします。お急ぎの場合はお伝えください	
目標	手術の経過がわかる。	指示薬を使用し苦痛が軽減できる 柵をかけベッド上で安全に過ごすことができる	ふらつきなく歩行できる

症状・経過によってはスケジュール通りにならない場合があります

氏名	様	主治医	助産師	産後2日目 /	産後3日目 /	産後4日目 /	産後5日目(退院日) /	退院日 /
観察	1日3回体温、脈拍、血圧、血中酸素飽和度、呼吸数を測ります。		1日1回体温、脈拍、血圧、血中酸素飽和度、呼吸数を測ります。					
	適宜乳房マッサージを行います。							
生活動作	制限はありません。マタニティプランに沿って育児を進めていきます。							
食事	2日目の朝から授乳食が出ます。選択食から選ぶこともできます。							
清潔	シャワーを浴びる事ができます。							
排泄	トイレに行けます。							
診察・処置	シャワー前後、看護師が傷の観察を行います。看護師にご連絡ください。						医師が診察を行い、退院の判断をします。	
検査							採血・採尿をします。	
薬物療法	症状に応じて処方します。 対象の方に希望により風疹ワクチンを接種します							
説明・指導	 入院中の指導は別紙参照してください ＊母乳外来：授乳相談、乳房マッサージなどを行います。（有料、予約制） ＊産後2週間健診：尿検査、血圧測定、授乳相談、乳房マッサージ等を行います。受講は看護師・助産師に相談してください。 ナースステーション窓口で母子の1ヶ月健診の予約を取りましょう。 退院時、退院療養計画書をお渡しします。							
目標	合併症を起こさないで経過する。		赤ちゃんとの生活がイメージできる。退院後に向けた指導を選択できる。自分に合った授乳方法を選択できる。産後の注意点がわかる。					
	転倒がなく過ごせる			退院ができる。				

症状・経過によってはスケジュール通りにならない場合があります